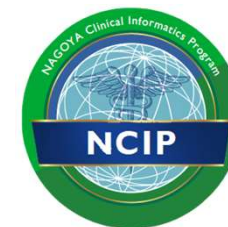




名古屋大学  
医学部附属病院

NCIP募集説明会



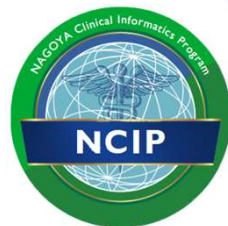
# 名古屋医療情報学プログラム (Nagoya Clinical Informatics Program/NCIP)について

名古屋大学医学部附属病院  
メディカルITセンター

2025.3.19



名古屋大学  
医学部附属病院



# 「名古屋医療情報学プログラム」って？

「NCIP」って？

なに？

Q & A

名古屋医療情報学プログラム NCIP とは  
働きながら または 家庭や家業と並行して、  
場所や時間を選ばず スマホやPCモバイルを使って  
自分軸で自由に学べるオンデマンド講義です。



医療 × ITの最前線を 今話題の医療DXを  
医療情報の基礎から応用まで 実用的知識やスキルを  
業界トップクラスのプロフェッショナル達から学ぶ!

自分自身のアップデートのチャンス 今つかみませんか!



このような？に関する内容をご説明いたします。

1. どんな人達が受講するの？ 対象条件は？
2. 医療情報学ってなにを学ぶの？
3. どんなカリキュラム？ 講師って誰なの？
4. 医療DXって？ 学べるの？
5. オンデマンド講義？ 講師へ質問はできるの？

このような？に関する内容をご説明いたします。

6. 修了したらいいことあるの？メリットは？
7. 受講料・登録料って？ 支払い方法は？
8. 企業単位の申込ってなに？
9. BP認定？ 教育訓練給付制度って？
10. 受講期間中に受講継続できなくなったら？

## どんな人達が受講するの？ 対象条件は？

### 受講対象者

- 大学を卒業した者
- 医療分野に関わる業務に従事する者
- 医療分野に従事する見込みの者

### 想定されるプロフィール

- 医療従事者(医師、看護師、薬剤師など)
- 医療情報部門の担当者
- 医療関連企業の従業員
- 行政機関の医療担当者

**特徴:**働きながら、または家庭や家業と並行して、場所や時間を選ばず、スマホやPCを使って自分のペースで学べるプログラムです。

## 医療情報学ってなにを学ぶの？

### 医療情報の基盤

診療情報、データ標準化、倫理・セキュリティなど

### 医療情報システム

電子カルテ、地域医療連携、医療情報セキュリティなど

### データ活用

医療ビッグデータ、AI応用、リアルワールドデータなど

### なぜ今、医療情報学なのか

- 医療DXの加速: デジタル技術による医療変革
- 医療安全の確保: 情報セキュリティの重要性増大
- 業務効率化: 医療現場の負担軽減
- 地域医療連携: 情報共有による医療提供体制の強化

医療×ITの最前線を学び、実践的知識とスキルを習得することで、現代医療の課題解決に貢献できる人材を育成します。



## どんなカリキュラム? 講師って誰なの?

### カリキュラム構成

- 体系的に医療情報学を学べる構成
- 各科目ごとに概論、実践
- 特論、双方向授業の講義も
- 合計47本(予定)

### 主な科目カテゴリー

- 安全に取り扱うための知識
- データの内容についての知識
- システムについての知識
- 利活用の知識・方法
- 運用のための基礎知識
- これからの医療情報など

### 約50名の日本を代表する医療情報学の専門家が講師を担当(今年度実績)

- 森田 朗先生(東京大学名誉教授)
- 大江 和彦先生(東京大学大学院医学系研究科教授)
- 黒田 知宏先生(京都大学医学部附属病院教授)
- 中島 直樹先生(九州大学大学院医学研究院教授)
- 小笠原 克彦先生(北海道大学大学院保健科学研究院教授)
- 武田 理宏先生(大阪大学大学院医学系研究科教授)
- 白鳥 義宗先生(名古屋大学医学部附属病院メディカルITセンター長)
- その他、第一線で活躍する実務家・研究者

## 医療DXって？ 学べるの？

### 医療DXとは

医療のデジタルトランスフォーメーション(DX)とは、デジタル技術を活用して医療のあり方を変革し、医療の質向上と効率化を実現すること

### 医療DXの主要要素

- 電子カルテの高度活用
- データに基づく医療の実践
- AIの医療応用
- 遠隔医療の推進
- 医療IoTの活用など

### NCIPでの学び(DX関連講義例)

- 医療ビッグデータとその解析
- RWDの利活用
- 医療の標準化・最適化
- 特論:デジタル・トランスフォーメーション
- 特論:医療のIT化と未来医療

医療DXは2024年度を受講生が最も関心を持った領域のひとつです。受講者アンケートでは「これからの医療情報(DX、未来医療など)」に対する関心が最も高く、「どのような人材として活躍したいか」の回答でも「医療DXの推進」が上位に挙げられています。

NCIPでは、医療DXについて、最前線で活躍する専門家から包括的に学ぶことができます。

## 医療DXって？ 学べるの？

### オンデマンド講義の特徴

いつでも、どこでも視聴可能  
自分のペースで学習できる  
繰り返し視聴できる  
スマホ、タブレット、PCで受講可能

### 2025年度の新たな取り組み

- オンライン双方向授業の実施(一部講義)
- 受講生同士の交流機会の提供
- オフラインミーティングの計画(名大病院での交流会および第45回医療情報学連合大会(11月姫路)併せて実施を計画)

### 講義に関する質問

- Google Classroomのコメント機能で質問可能
- 事務局がとりまとめて講師に転送
- 返答はClassroom内で共有
- FAQ形式で他の受講生とも共有

質問やディスカッションの機会も確保しながら、柔軟な学習環境を提供します。

## 修了したらいいことあるの？メリットは？

### 履修証明書

- 文部科学省の履修証明制度に基づく証明書
- 学校教育法に基づく正式な証明
- 名古屋大学の教授会で修了認定

### キャリア上のメリット

- 知識・スキルの向上
- 医療情報学の体系的な知識習得
- 第一線の専門家から学ぶ最新動向
- 実践的スキルの獲得
- 複合的な視点の養成

### デジタル修了証(オープンバッジ)

- 2024年度NCIP修了者より発行予定
- 偽造や改ざんが不可能で信頼性が高い
- SNSや履歴書等で活用可能
- 獲得したスキルや知識を可視化

医療情報人材として市場価値を高め、キャリアの幅を広げることができます。

## デジタル修了証(オープンバッジ)

※2024年度NCIP履修修了者より発行見込み(現在学内申請中)

### ● オープンバッジについて

知識・スキル・経験のデジタル証明としてオープンバッジが大きく注目を集めています。

欧米を中心に大学や資格認定団体、グローバルIT企業が多くのオープンバッジを発行しており、日本でもさまざまな団体からの発行が始まりました。

国際標準規格としてのオープンバッジは、取得した資格や学習内容を目に見える形にし、受検者や受講者を増やすデジタルマーケティングツールにもなります。

当財団は、日本ならびにアジア地域において、誰もが安心して便利に利用できるようブロックチェーンを組み込んだオープンバッジの発行環境をクラウドサービスとして提供し、普及と質保証を行っています。

一般財団法人オープンバッジ・ネットワーク  
<https://www.openbadge.or.jp/about-ob/>



紙の証明書とは異なり、改ざんや偽造が不可能で信頼性が高く、バッジ画像に埋め込まれた「メタデータ」で内容を証明。

発行されたオープンバッジを自分専用の「オープンバッジウォレット」で受けとり、集め、一元管理。

X(Twitter)やFacebook、LinkedinなどSNSで公開、メール署名や履歴書に貼り自身の知識やスキル、強みをアピール。

## 受講料・登録料って? 支払い方法は?

### 個人受講:

受講料:250,000円(税込)

登録料:10,000円(税込)

※教育訓練給付制度により、条件を満たす方は費用の一部が給付金として支給されます  
(詳細は後述)

### 企業単位受講:

受講料:1,000,000円(税込)(受講生10名まで)

登録料:10,000円(税込)(受講生一人あたり)

### 支払い方法

受講申し込み期間終了後、請求書を送付します。

所定の期日までに指定口座へお振込みください。



## 企業単位の申込ってなに？

### 企業単位申込の特徴

- 企業が複数の社員を一括して申し込む方式
- 社員のリスクリングの一環として活用可能
- 企業の人材育成計画に組み込みやすい

### 企業のメリット

- 医療IT人材の体系的な育成
- 医療現場の理解促進
- 共通言語・知識の獲得
- 複数名申込による調整可能

### 企業担当者の声(2024年度)

「医療従事者とシステム関係者の橋渡しができる人材育成を期待」

「医療DX推進に必要な知識を体系的に習得の期待」

## BP認定？ 教育訓練給付制度って？

### BP(職業実践力育成プログラム)認定

文部科学省が、社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として認定する制度です。

※NCIPIは2025年度BP認定されました

### ポイント

- 社会人の学び直す選択肢の可視化
- 大学等のプログラムの質保証
- 企業等の理解増進

### 教育訓練給付制度

厚生労働省が、働く人の主体的な能力開発を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする制度です。

※NCIPIは2025年度教育訓練給付制度指定されました

### 給付内容

- 受講費用の20%(上限10万円)が支給
- 一定の条件を満たす方が対象
- 修了後に手続き可能



## BP(職業実践力育成プログラム)認定

### 文部科学省 職業実践力育成プログラム(BP)認定



教育再生実行会議「学び続ける」社会, 全員参加型社会, 地方創生を実現する教育の在り方について(第六次提言)」(平成27年3月)を受けて, 大学・大学院・短期大学・高等専門学校におけるプログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として, 大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定することとしました。

これにより、

1. 社会人の学び直す選択肢の可視化、
2. 大学等におけるプログラムの魅力向上、
3. 企業等の理解増進を図り、厚生労働省の教育訓練給付制度とも連携し、社会人の学び直しを推進します。

文部科学省 職業実践力育成プログラム(BP)認定制度について  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/bp/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/index.htm)

# 教育訓練給付制度

## 厚生労働省 教育訓練給付制度指定

受講者や企業に対し、受講料等の一部が支給されます

職業実践力育成プログラム（BP）のうち、大学等が厚生労働省の教育訓練給付の講座指定を希望し、その指定基準を満たすとして厚生労働大臣の指定を受けたものについては、以下の制度を利用することができます。

（BPに認定されている全ての課程が教育訓練給付の対象講座ではありません。）

厚生労働省-教育訓練給付制度

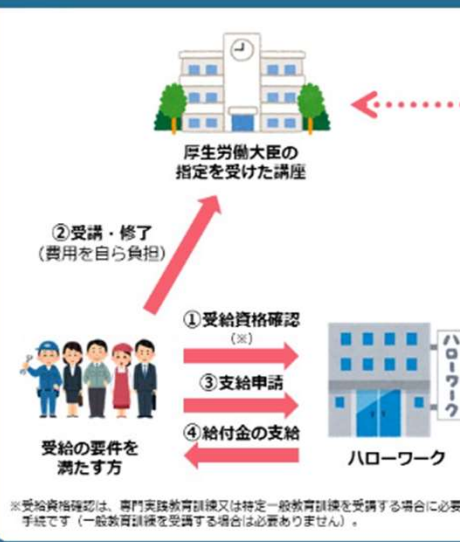
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html)

## 教育訓練給付制度とは

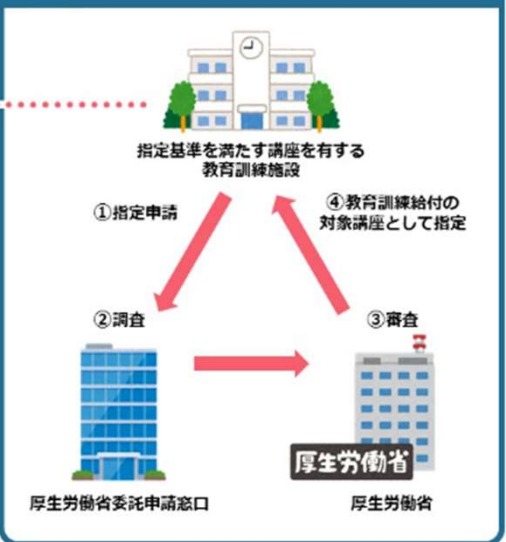
教育訓練給付制度とは、働く方々の主体的な能力開発やキャリア形成を支援し、雇用の安定と就職の促進を図ることを目的として、厚生労働大臣が指定する教育訓練を修了した際に、受講費用の一部が支給されるものです。

### 教育訓練給付制度の概要

#### 1 教育訓練給付の支給を受けるまでの流れ



#### 2 教育訓練給付の講座指定を受けるまでの流れ



※受給資格確認は、専門実践教育訓練又は特定一般教育訓練を受講する場合に必要な手続です（一般教育訓練を受講する場合は必要ありません）。

# 教育訓練給付制度

教育訓練給付制度  
厚生労働大臣指定教育訓練講座

[トップ](#) [講座・スクールを探す](#) [当サイトについて](#) [制度・講座について](#)

## 講座詳細

一般 **名古屋医療情報学プログラム**

[受講できる教室一覧](#)

### 基本情報

スクール名	名古屋大学大学院医学系研究科
実施者	国立大学法人 東海国立大学機構
指定番号	2322018-2510012-2
指定期間	令和7年4月1日～令和10年3月31日
講座名称	名古屋医療情報学プログラム
講座内容	医療情報に関する体系的・網羅的な知識を習得し、医療とICTの両方に精通した人材を育成することを目的としています。
実施方法	eラーニング
訓練期間	7ヶ月
訓練時間	0時間
開講月	-
給付率	20% (上限10万円)
講座URL	-

教育訓練給付制度  
厚生労働大臣指定教育訓練講座

[トップ](#) [講座・スクールを探す](#) [当サイトについて](#) [制度・講座について](#)

## 教育訓練給付制度

厚生労働大臣指定教育訓練講座

検索システム

[講座・スクールを探す](#)





## 受講期間中に受講継続できなくなったら？

### 受講継続が難しくなった場合

- まずはメディカルITセンターにご相談ください
- 個別の状況に応じて柔軟に対応します

※健康上の理由や業務都合など、やむを得ない事情がある場合は、早めにご連絡ください。

### 受講継続ができなくなった場合の受講料について

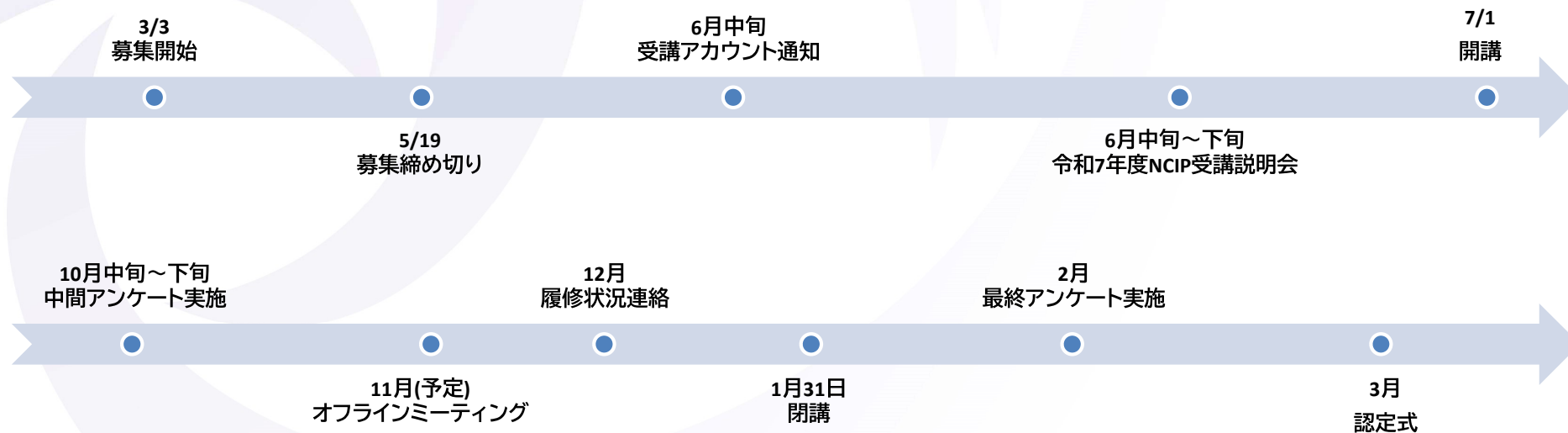
受講期間中にやむを得ない事情で受講継続ができなくなった場合でも、受講料の返金は一切行えません。お申し込み前に受講期間全体を通じて受講可能かどうかを十分ご検討ください。

## 単位認定条件

- ・履修完了時間が60時間以上(履修完了40コマ以上)
- ・理解度テスト完了
- ・動画中のキーワード

名古屋大学の教授会にて単位認定審査します

# スケジュール



## 主なイベント

6月中旬～下旬:受講説明会

10月中旬～下旬:中間アンケート実施

11月:オフラインミーティング(第45回医療情報学連合大会に併せて実施予定)

12月:履修状況連絡

2026年3月:認定式・履修修了証交付

ご質問がありましたらよろしくお願ひします。  
チャットへの投稿でもお受けします。

お問い合わせ先

名古屋大学医学部附属病院 メディカルITセンター

メール: [ncip-office@med.nagoya-u.ac.jp](mailto:ncip-office@med.nagoya-u.ac.jp)

電話: 052-744-1977

FAX: 052-744-1916

WEB: <https://www.nu-mitc.org/lecture/general/>

